

令和7年度 第3回 富谷市総合計画審議会 会議録

日 時：令和7年11月19日（水）午後3時00分から午後5時00分まで

場 所：富谷市役所 3階 305会議室

参加者：富谷市総合計画審議会 出席委員12名

：富谷市10名

：事務局5名

：オブザーバー（富谷第二中学校生徒）2名

1 開会（司会：企画部長）

2 市長挨拶（若生市長）

皆様、お疲れ様でございます。本日は大変お忙しいところ、令和7年度第3回富谷市総合計画審議会にご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。また、審議会委員の皆様には日頃から市政全般についてそれぞれのお立場からご支援、ご指導、ご協力を賜っておりますこと、心より御礼を申し上げたいと思います。そして、前回の総合計画審議会があった8月20日には、大変嬉しい報告をすることができました。長年の念願でございました総合病院について、東北労災病院の移転が断念された後に公募に踏み切り、東北医科薬科大学が事業者候補者として決定したことで、本市にとって歴史的な日となりました。その後、順調に協議を進めまして、10月29日に東北医科薬科大学と覚書を締結することができました。覚書締結の際には、黒川地域の和和町、大衡村、大郷町の町村長の皆様にもご同席いただき、今後は、来春の基本協定の締結に向けて、東北医科薬科大学との協議を進めてまいります。病院を誘致するだけではなく、新病院を迎えるにあたり、公立黒川病院、富谷・黒川地域の医師会、既存の医療機関のそれぞれが連携した、新しい医療連携プラットフォームの構築を目指しているところでございます。

そして、新しく嬉しい話題がございます。本日発表になりました、今年の住み続けたい街ランキングにおいて、5年連続東北1位、街の幸福度ランキングでは2年連続で東北1位ということで、東洋経済新報社の住みよさランキングや住みこころランキングと合わせて4冠をいただくことができました。これもひとえに、富谷市の市民力の高さが自治体評価の高さにつながり、市民の皆様のご協力とご活躍、そして、審議会での風見会長はじめ委員の皆様からのご支援、ご指導、ご協力を賜った結果でございます。改めて心より感謝申し上げます。なお、本市の目指すところは日本一でございますので、引き続き、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、連日、クマの話題が報道されております。特に本市におきましては、9月12日に県内で最初にクマによる人身被害が発生したということで、すぐに発生場所のクマの移動経路にもなっている河川敷の藪の刈払いや箱罠を現場の近くに設置し、1週間程度で捕獲に至りましたが、それでも相変わらず目撃情報は絶えない状況が続いております。これまでの状況とは違い、全国各地ではクマに襲われて亡くなった方もいらっしゃるということで、クマ被害は災害に匹敵する問題となっております。本市では11月7日にクマ対策本部を設置いたしまして、11月14日にはクマ緊急対策パッケージを発表させていただきました。今年はブナの実の不作で、餌の不足によりクマが里に下りてくるという状況があり、柿や栗の木など誘引樹木に引き寄せられるのですが、所有者の方に家の庭の木を刈り取ってくださいますようお願いするのは

難しいので、所有者の申し出を受けた誘引樹木についてはすべて市で伐採することとしております。河川敷についても、県または住民の皆様で結成された河川愛護会が担当する箇所以外の藪の刈払い、または市街地に近い山際の刈払いや資材の提供などを含め、クマ対策に率先して取り組んでおります。

前回の総合計画審議会におきましては、基本構想について答申をいただいたところでございます。本日ははいよいよ前期基本計画について、案をお示しさせていただいて、皆様からご意見をいただくこととなっておりますので、どうか忌憚のないご意見をいただければと思います。なお、総合計画審議会会長の風見先生が会長を務められているとうほくPPP・PFI協会が、毎年東北各県で開催するフォーラムを、「PPP/PFIフォーラム in とみや」として、11月12日に本市の成田公民館にて開催していただきました。富谷市のこれからの未来に向けて、可能性を含めて様々なご意見・ご提言をいただき、多くの皆様にもご参加いただきまして、貴重な機会となりました。これもひとえに風見会長のおかげでございまして、感謝申し上げます。この総合計画審議会は、富谷市の未来を示す最も重要な審議会でございますが、そこに、子どもたちの権利、子どもたちの声を大切にする「子どもにやさしいまちづくり」を目指す本市として、毎回各中学校から生徒代表でご参加いただいております。今回は、富谷第二中学校のお二人にオブザーバーとしてご参加いただいております。よろしくお願いいたします。お二人には今年、富谷市が実施している中学生海外派遣研修事業の台湾研修にもご参加いただいております。以前は抽選での参加でしたが、現在は本人の参加意欲をしっかりと見極めるためにレポートを提出いただいております。高い倍率の中から見事選ばれたお二人でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。本日も限られた時間ですが、皆様からの貴重なご意見を賜れればと思います。よろしくお願いいたします。

3 会長挨拶（風見会長）

皆さん、こんにちは。本日の総合計画審議会は年内最後になりますので、皆様とお会いするのを楽しみにしておりました。クマの話は心を痛めております。富谷市でも随分クマが出ているとの話を伺っておりますが、宮城大学にもクマが出没し、ニュースでも大変有名になってしまいました。毎日、事務局が苦勞して、先生方もコロナの時期に習熟した遠隔授業を駆使して対応しておりますが、被害者がなく、クマにも早く山に帰ってもらうとともに、クマと共存できる社会をデザインしなければならないと思うところです。田園都市を標榜する富谷市ですから、クマと共に生きるデザインを提示できるような新しい取組ができるようになれば良いと思います。クマにもやさしく、人にもやさしいまちになってほしいと思います。

また、住み続けたい街ランキングが5年連続、街の幸福度ランキングも2年連続で東北1位という数字もすごいところですが、先日のとうほくPPP・PFI協会のフォーラムでも若生市長から、合格発表のようなものといったお話がありました。若生市長の本音としては、今年のランキングはどうなるのだろうというお気持ちかと思いますが、それも王者の宿命ですので、その重圧に耐えて記録を伸ばしていただければと思います。おめでとうございます。私は富谷市の取組に関わることが出来て、光栄に思っておりますが、有名な観光資源などがたくさんあるわけではないにも関わらず、これほど評判の高いまちはなかなか無いと思います。これは若生市長はじめ、市の当局、市民全体がオールとみやとなっている証拠だと思います。住み心地は言ってみれば「気」ですので、気が合う、気が良いということが良い評判になるのではないかと思います。皆様が笑顔で楽しく幸せに暮らしていることが伝わるのだと思いますので、まずは市民の皆様が本当に幸せであるために、総合計画では何ができるのかを考えられればと思います。

また、若生市長からもお話がありましたが、先日11月12日、私が会長を務めておりますとうほくPPP・PFI協会で東北全県を回る大きなイベントを、富谷市の成田公民館で開催させていただきました。私も図書館の件で行ったことがありますけれども、久しぶりに成田公民館のほうに行きました。開催テーマが「ガーデンシティ」ということで、田園都市を実現するためのPPPの取組について3時間ほど議論をするというすごい場でした。これには、私も改めて非常に感慨深いものがありました。若生市長にも力説いただき、ありがとうございました。富谷市の魅力を皆様により知っていただけたのではないかと思います。富谷市はコンパクトなまちかもしれませんが、「小さな巨人」になるべきだと最後にお話しました。つまり、大都市の時代は終わって、小さいけれども巨人に打ち勝つような、旧約聖書で巨人ゴリアテを倒すダビデが脳裏に浮かびまして、若生市長がダビデになるのかと思いながら聞いておりました。これもひとえに、若生市長がリーダーシップを取りながら、市民の皆様が協力して、小さなプロジェクトを一つ一つ輝かせてきたからだと思いますし、これからも様々なプロジェクトを紡いでいくことになると思います。この総合計画は10年、100年の計画を決めるもので我々の責任は大変重大であります、各界の代表者の方が審議会委員になっておりますので、基本計画をまとめるため、忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

最後に、本日は新町地区で仕事をする機会がありました。塩竈市でも立地適正化計画策定に関わっているのですが、富谷市に来る際に塩竈市から追いかけてきた人がいましたので、富谷市の宣伝も行ってきました。「とみぶら」にも寄りまして、新町地区をしばらくぶりに訪れましたけれども、皆様よくご存じかと思いますが、ちょうど正面に円形の富谷市庁舎が見えました。私は、先人の方々が総合計画審議会を見据えてらっしゃるような感じがしまして、身が引き締まる思いでこちらに参りました。富谷市には新町地区の宿場町としての歴史があり、そこからまさに小さな巨人としてここまで大きくなり、さらに成長している素晴らしい都市ですので、先人の思いを未来につなげられるよう、頑張って議論してまいりたいと思います。本日もよろしくお願いいたします。

※ここから、風見会長が議長となり議事が進行された。

4 議事

(1) 第2次富谷市総合計画・前期基本計画案について

(風見会長)

それでは、議事の1つ目、(1) 第2次富谷市総合計画・前期基本計画案について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、第2次富谷市総合計画・前期基本計画案についてご説明させていただきます。事務局の説明につきましては、着座にて行わせていただきます。

資料1をご覧ください。こちらは、10月23日付けで審議会委員の皆様を確認依頼をいたしました前期基本計画案について、庁内での修正や審議会委員の皆様のご意見等を踏まえ、修正したものでございます。委員の皆様からいただいたご意見の反映状況につきましては、資料2として配付させていただいております。会議時間の都合上、説明は割愛させていただきますが、後ほどご覧いただければと思います。

今回大きく変わった点といたしましては、縦版から横版にレイアウトを変更しております。こちらは、パソコンなどで見やすいようにデジタルを意識した作りといたしました。また、全体のページレイアウトにつきましても変更しております。最初に「現状」、次に「施策の方針」、次のページに「今後の取組」、「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」、「成果目標」の順に記載することといたしました。また、写真のほか、7月から9月に子どもたちが参加できる機会として、市内小学生を対象に実施いたしました「こども絵画コンクール」の入賞作品についても、関連ページに掲載しております。「こども絵画コンクール」の開催結果につきましては、資料1-1をご覧ください。応募総数は、低学年の部、高学年の部を合わせまして33点で、その中から各部門で市長賞を1点、とみや未来賞を4点決定いたしました。どの作品も本市の魅力や本市への愛着が伝わる素晴らしいものでした。

それでは、計画案についてご説明いたします。計画案につきましては、会議時間の都合上、基本目標ごとに抜粋してご説明させていただきます。7ページをご覧ください。基本目標1の(1)産業創出でございます。施策の方針を「多様な企業誘致の推進、雇用機会の拡大等による地域経済の活性化促進」、「市民が起業・創業にチャレンジできるサポート体制の強化」といたしました。今後の取組といたしましては、「成田二期北工業用地への企業誘致・立地企業支援による雇用の創出」、富谷塾をはじめとした「起業・創業支援の充実による新たな産業創出」、シルバー人材センターや黒川商工会議所との連携による「高齢者の雇用確保と商工支援体制の充実」といたしました。成果目標といたしましては、「成田二期北工業用地への企業誘致件数(累計)」の目標値を6件といたしまして、「市の支援による起業件数(累計)」の目標値を75件としております。

9ページをご覧ください。基本目標1の(2)農業振興でございます。今後の取組を、後継者不足の解決に向けた「農業者・担い手の育成支援」、「ブルーベリー・はちみつ・富谷茶の生産拡大や安定供給・ブランド力の強化」、学校給食などによる「地産地消の普及促進」、新たな農作物や加工品の開発支援による「農産物の付加価値の創出」といたしました。私たちができること・みんなで取り組みたいことについては、「地元の農産品を買ってみる」、「富谷の特産品を周りの人にPRする」という意見が挙がっております。成果目標は、「新たな農産物への取組」を現在は5品としているところ、5年後には10品に増やしていきたいと思っております。

15ページをご覧ください。基本目標2の(2)公共交通でございます。こちらは施策の方針を「誰もが利用しやすく持続可能な公共交通サービスの構築」、「市民ニーズに対応した利便性の高い市民バスやデマンド型交通の運行」といたしました。今後の取組は、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通サービスの実現に向けた「地域公共交通計画に基づく施策の実施」、都市型自走式ロープウェイの導入の調査研究など「新たな軸となる基幹公共交通の整備」、市民バスやデマンド交通などの「市内公共交通の充実」といたしました。成果目標は、「市民バス年間利用者数」、「デマンド型交通年間利用者数」としております。

19ページをご覧ください。基本目標2の(4)公園・住宅でございます。今後の取組を、「公園機能の充実と適切な維持管理」、「大亀山森林公園の持続的な魅力向上」、「利便性の高い良質な住宅地の供給と快適で魅力的な居住環境の形成」といたしました。成果目標は、「大亀山森林公園来場者数」としており、目標値を22,000人としております。

23ページをご覧ください。基本目標3の(1)子どもにやさしいまちづくりでございます。施策の方針を、「子どもの目線を大切にした子どもにやさしいまちづくりの推進」、「子どもの意見の積極的な市政への反映及び社会参画の促進」といたしました。取組の内容は「富谷市子どもにやさしいまちづくり条

例（仮称）の普及啓発」、「子どもが健やかに成長し、安全・安心に暮らせるまちづくりの推進」、「子どもが友達と楽しく活動し、地域と交流できるまちづくりの推進」、「子どもの意見を聴き、まちづくりに生かす取組の推進」といたしました。私たちができること・みんなで取り組みたいことは、「子どもの権利や子どもにやさしいまちづくりについて理解を深める」、「子どもとの交流の機会があれば積極的に参加する」などの意見がございました。成果目標は、「子どもの意見を取り入れる取組の実施」について、令和12年度に18事業を目標としております。

27ページをご覧ください。基本目標3の（3）子育て支援でございます。今後の取組は、子ども家庭センターでの一体的な支援や経済的負担の軽減などの「子育て支援サービスの充実」、「妊娠期から乳幼児期・学童期に向けた切れ目のない母子保健の充実・強化」、「地域における子育て支援の充実」といたしました。成果目標は、令和8年度より開始する「乳幼児健診受診（5歳児健診）の健診受診率」、「こども食堂の数」を目標としております。

29ページをご覧ください。基本目標3の（4）教育環境・教育・学びでございます。今後の取組を、「図書館を使った調べる学習コンクールなどの活用による「自ら学ぶ力と確かな学力を育む教育」、いじめ、長期欠席等による子どもたちのケアに向けた「誰一人取り残さない教育の推進」、オンライン国際交流やAIを利用した「国際理解教育や社会につながる力を育む教育の推進」、市立小中学校の特別教室や体育館への空調設備の整備など「持続可能な教育環境の充実と児童生徒数に見合う配置の検討」、「地域学校協働活動「地域・学校・家庭をつなぐ取組」の推進」といたしました。成果目標は、「つながっていない児童生徒ゼロ」、「ユネスコスクールによる国際交流」、「各種教育活動への生成AIの活用」としております。

33ページをご覧ください。基本目標4の（1）地域共生でございます。施策の方針を、「世代や立場を超えて、共に支え合い、誰もが地域の一員として役割をもって力を発揮し、自分らしく生き生きと暮らすことができる「地域共生社会」の推進」、「シニア世代を中心とした地域の「支え合い人財」の育成の推進」といたしました。今後の取組は、「共に支える地域づくりと地域福祉ネットワークの推進」、「シニア世代を中心とした地域の「支え合い人財」の育成と総活躍」、「相談事業の推進と援助体制の強化」といたしました。私たちができること・みんなで取り組みたいことは、「子どもから高齢者まで誰もが住みやすい地域とはどのような地域か考えてみる」、「若い世代と高齢者世代の世代間交流など、多世代・多様な交流機会を増やす」というご意見がございました。成果目標は、「街かどカフェ設置数」、「ゆとりすとクラブ・サロン登録者数」、「ボランティアセンター登録者数（延べ）」といたしました。

37ページをご覧ください。基本目標4の（5）高齢者支援でございます。施策の方針を「高齢者が自分のこころと体の健康を守り、楽しみ（わくわく）のある暮らしや健康寿命の延伸に向けた取組の実施」、「高齢者が自分らしさを大切にし、個性と能力を存分に発揮し、安心して暮らすことができる幸齢社会の実現を目指した環境の整備」といたしました。今後の取組は、「こころと体の健康づくりの推進と安心して暮らせる環境整備」、ICカード乗車証「とみばす」など「交通弱者対策の推進」、認知症学びの講座や認知症カフェなど「認知症施策の推進」といたしました。成果目標は、「「とみばす」の交付率」や「認知症学びの講座受講者延べ数」などを目標といたしました。

39ページをご覧ください。基本目標4の（4）障がい者支援でございます。施策の方針を、「障がい者が自分らしい生活を営める環境づくりの推進」、「障がい者の外出を支援し、交通面から生活を支える取組の実施」といたしました。今後の取組は、「障がいのある方の働く場の確保」、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせることができるよう「ニーズに応じた障がい者福祉の充実」、重度障がいの方を対

象としたタクシー利用料金や自動車燃料費の一部助成など「交通弱所対策の推進」といたしました。成果目標は、就労移行支援・就労継続支援事業者数を5事業者から8事業者へ、「とみばす」の交付率などいたしました。

41ページをご覧ください。基本目標4の(5)医療でございます。今後の取組を、「総合病院の早期立地・環境整備」、かかりつけ医の利用を促進するなどの「地域医療の充実」、「国民健康保険制度の適切な運営」といたしました。成果目標は、「かかりつけ医を持つことの啓発事業（累計）」で目標を5年後に15回いたしました。

43ページをご覧ください。基本目標4の(6)生涯学習でございます。施策の方針を、「子どもから高齢者まで誰もが居場所を得て、生涯にわたって学び、心豊かな人間性を育むことができるような環境の整備」、「あらゆる世代の多様な学習ニーズに的確に応じた生涯学習の機会の充実」といたしました。今後の取組を、ユートミヤ及び各市民センターなどの「生涯学習拠点の充実」、学校、家庭、地域と連携・協働した「生涯学習の総合的な推進体制の強化・充実」、「生涯学習の多様な学習機会の提供と成果還元場の場づくり」といたしました。成果目標は、「図書館資料貸出延べ人数」を目標としております。

49ページをご覧ください。基本目標5の(1)防災・救急・消防でございます。今後の取組は、自主防災組織の設置や消防団員の確保など「住民主導による地域防災力の強化支援」、「多様な支援ニーズに対応するための災害協定等の検討」、大規模地震での家屋被害を最小限に抑えるための「耐震構造化への取組強化」、安全・安心メールのほかSNSなどによる「防災情報等の周知の強化」といたしました。私たちができること・みんなで取り組みたいことは、「地域の防災訓練に参加する」、「日頃から防災に向けた事前準備をする」などのご意見がございました。成果目標は、「自主防災組織設置数」や「消防団充足率」などを目標としております。

53ページをご覧ください。基本目標5の(3)人権尊重・男女共同でございます。今後の取組を、「人権教育の推進と人権相談体制の充実」、各種審議会等への男女バランスの良い登用など「男女共同参画の推進」といたしました。成果目標は、「審議会等委員への女性登用率」、「市管理職に占める女性職員の割合」といたしました。

57ページをご覧ください。基本目標6の(1)自然環境でございます。施策の方針を、「緑豊かな自然環境の保全と積極的な活用の推進」、「自然環境を次世代に継承していくための、市民との協働による適切な維持管理」といたしました。取組の内容は、森林再生プロジェクト等の推進による「自然環境の適切な保全と活用」、「準用河川等の環境維持」、誰もが都市生活の中で、自然や生き物に親しむことができる環境づくりに取り組む「生物多様性の保全」としました。成果目標は、「自然に関するイベントの参加人数」として、5年後に600人を目標としております。

59ページをご覧ください。基本目標6の(2)ゼロカーボンでございます。今後の取組は、「太陽光発電の住宅への導入促進など再生可能エネルギーの導入促進」、「太陽光発電や蓄電池を活用した脱炭素×防災の推進」、「市全体が一体となった持続可能なまちづくりの推進」といたしました。私たちができること・みんなで取り組みたいことは、「食品の食べきり、使い切りを心がけ、食品ロスを減らす」、「家族でゼロカーボンにつながる行動について話し合う」などのご意見がございました。成果目標は、「温室効果ガス排出量」、「次世代自動車の導入台数」としております。

67ページをご覧ください。基本目標7の(1)地域活動・市民活動でございます。施策の方針を、「市民や団体、企業、行政などの様々な主体が、まちづくりの方向性を共有し、連携・協力し合う協働によるまちづくりの推進」、「地域の実情に応じた主体的な地域活動の支援」といたしました。取組の内容は、

「公益的な活動への支援の充実」、「町内会などの地域コミュニティ活動の活性化への支援」といたしました。私たちができること・みんなで取り組みたいことは、「地域の活動に積極的に参加し、交流する」、「様々な意見に耳を傾け、発言しやすい場づくりを心掛ける」などの意見が挙げられました。成果目標は、「地域活動・市民活動発信件数」を目標としております。

69ページをご覧ください。基本目標7の(2)市民参加・広報広聴でございます。施策の方針を、「多様化する市民ニーズを把握し、市民の声を幅広く生かした市と市民が連携・協働したまちづくりの推進」、「広く市政情報を届けるため、多様な媒体を活用した正確で分かりやすい情報提供と各種媒体の利便性向上」といたしました。今後の取組は、広報紙、審議会、ワークショップ等の「市民参加の促進」、「広報紙や市公式ホームページ・SNS・動画配信など「広報・広聴機能の充実」といたしました。成果目標は、「LINE友だち登録数」、「市公式ホームページの訪問者数（1日当たり）」といたしました。

説明は以上となりますが、今後は、ただ今ご説明いたしました前期基本計画の中から、5年間のまちづくりをけん引する重点施策を選定し、お示しする予定としております。本日の委員の皆さまのご意見や、これから実施するパブリックコメントでのご意見等を反映した形で、重点事業を含めて前期基本計画の最終案として、次回の審議会でお示しいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(風見会長)

ありがとうございます。ご覧いただいたとおり、総合計画ですので大変多岐にわたる内容になりますが、それぞれのご専門の立場から色々なご助言、探求できる点などございましたら伺いたいと思います。まずは、前回ご意見をいただいているところもありますので、ご質問等ございますか。特にないようでしたら、恒例になりますが、会を有効に活用するべく、一巡でご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。それでは、高橋（和）委員、お願いします。

(高橋（和）委員)

宮城大学の高橋です。本当に多岐にわたって、質問を丁寧にまとめていただき、意見も反映していただいております。基本計画は、全体的にとってもバランスよくまとめていただいていると思います。

私が地域を作っていくという中で日頃から大切に思っていることは、「安全・安心」に暮らせるということです。そのために何が必要かといえば、人と人とのつながりであり、モノ、お金とも言われますが、経済的な面や環境など、人同士のつながりを大切にする必要があります。物的環境の整備も考慮して、経済面というところで、人が安心して安全に暮らしていくという点では、生活の安定というところがとても大事になってきます。働く人を支えるということで働く場や、生活する場、そこで安心して暮らせる人とのつながりというところを含めた中で、子どもたちが育ち、その後成長してもここで暮らしたいと思える地域づくりが反映されている基本計画であると思っています。富谷市の地域環境を考えた時に、コンパクトでありながら、100万都市である仙台に近く、生活、働く場、教育、外につながるルートなど様々な可能性を発展していけるという特徴を持った中で、田園都市として自然との調和やコンパクトシティだからこそできる教育的な取組であったり、お子さんを育てていく環境の整備であったり、その親が働く場と生活の維持というところもつなげていけると思っています。そのような要素が入った基本計画として、優先度の高い施策を選んでいただいて今後につなげていただけるかと思いますが、今後につなげるという意味では、子どもが地域に愛着を持って、ここで育ち、ここで貢献していきたいと思

っていただけることがとても大事だと思います。そのためには、大人がどのような活動をしているのかを子どもたちにも知ってもらって、そこに自分たちも参加し、大人に守られているという中で、自分たちも貢献したいと思えることが大事ではないかと思っています。ぜひ、子どもを守るだけでなく、色々な活動を大人と一緒にいき、地域への愛着を育みながら、この地域の中で色々なことを学んで、将来を展望できるような、楽しく生活できると思えるような地域として、今後につなげていただければと思います。基本計画全体としてとてもよくまとめられているので、特に指摘というわけではなく、非常に色々な要素が入っていて素晴らしいと思いましたので、具体化してほしいと思いました。

(風見会長)

ありがとうございます。安全・安心は重要です。安全・安心が前提にあつての自治体ランキングだと思いますし、市民参加については基本目標7「協働でつくる持続可能なまち」などでも強調されていますが、計画全体で市民の様々な参加を強調していただければ良いと思いました。

申し遅れましたが、オブザーバーでご参加のお二人には2つの議事が終わってから、子どもたちがどんな希望を持っているのかなど、ご意見いただきたいと思います。大人たちがとても真剣に議論しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、成澤委員お願いします。

(成澤委員)

七十七銀行の成澤です。今回の基本計画案は、前回からだいぶブラッシュアップされたという印象を受けました。文字の大小の工夫ですとか、分かりやすい表現ですとか、写真だったり絵画コンクールの作品が掲載されていたり、まちづくりのイメージが湧きやすいものになっており、視認性も前回から向上していると感じております。前回意見を出しました、「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」についても、タウンミーティングや市民ワークショップなどを通じて、市民の声を反映していただいておりますし、決して行政からの一方通行にならないような工夫がされていると思います。全体として、基本構想に掲げた3つのまちづくりの柱にしっかりと沿った、内容の充実した基本計画になってきたと感じております。

先の話にはなるとはありますが、今後、基本計画を策定し、今度は実施計画に落とし込むということで、計画実現に向けて、様々な内部環境・外部環境の変化が出てくるとは思います。話は脱線しますが、本日の午前中にひより台1丁目にクマが出たということで、銀行の2階からその様子を拝見していましたが、まさかこんな身近なところでクマが出るとは少し前なら想像できませんでした。これからも色々な地政学的なもの、経済的なもの、自然的なものなど環境の変化が出てくるとは思います。それらにしっかりとスピーディーに対応し、PDCAを回して行って、計画を実現していく必要があらうかと感じております。富谷市は、県内市町村でもいち早くクマ対策本部、緊急パッケージを打ち出しており、スピーディーに対応できるところが富谷市の強みだと感じておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。市民力の高い、市民が主役のまちづくりの実現に向けて、市民と共に官民連携、産官学に金も混ぜていただいて連携するとともに、富谷市だけでは解決できない課題も出てくると思うので、そこは近隣の地域との連携も視野に入れながら進めていただければと思います。

(風見会長)

ありがとうございます。富谷市はコロナ禍の対応でもスピーディーに支援されたように、若生市長も

スピード感を大事にされていると思います。連携については、「PPP・PFIフォーラム in とみや」でも七十リサーチ&コンサルティングの茂田井常務にも登壇いただいたのですが、プロジェクトの財源をしっかりとしていく以上、金融機関の果たす役割は大きいと思います。これから様々な計画がありますがけれども、官民連携の観点で銀行からも応援いただければと思います。ありがとうございました。クマ騒動、お疲れ様でした。本日も出役していたということで、心配しておりました。それでは、石井委員お願いします。

(石井委員)

基本計画の内容はすごく充実しているので、私からは異論はありません。仕事柄、私自身も仙台市中心部商店街の計画などを作っている立場でありますので、この基本計画が資料として分かりやすいかどうかという視点で見えていましたが、非常に分かりやすいと思います。1ページ目で大まかな全体像が見えて、2ページ目以降で施策の体系が見えて、7ページ目からは一つのテーマごとに見開きで見ることができて、横長に全部統一してあるという点が非常に分かりやすいと思います。オブザーバーで中学生のお二人が来られていますけれども、お二人もそう思っているのではないかと思います。その点では非常に整理されていると思います。

また、以前から申し上げているところではありますが、我々は総合計画審議会に出ているので、前期基本計画とは何か理解しているのですが、一般の市民の方は、総合計画と前期基本計画の関係性が良く分からないと思います。総合計画は10年間、2026年から2035年までの計画ですが、そのうち、前期基本計画は令和8年から令和12年までの基本計画を定めるものという位置づけを常に出しておかないと、前期基本計画が何を指すものなのか分からなくなる可能性があります。これだけ素晴らしい基本計画ができてきているので、市民の方からの分かりやすさという観点でぜひご留意いただけると、非常に素晴らしいものができると思います。

(風見会長)

ありがとうございます。私も、色もうまく使って、だいぶ分かりやすくなったと思います。3つの柱から基本目標がつながることがまず大事です。今日は基本計画を審議する最後の回になるかも知れませんが、皆様からご覧になって、この部分は絶対に入れないといけないということがあればご意見をいただきたいと思います。エッジを利かせるという意味では、富谷の特徴がどう生かしているかという点をご覧いただきながら、ご意見いただければと思います。それでは、高橋（知）委員お願いします。

(高橋（知）委員)

資料2のご説明でもありましたが、地域の方々と関係機関との連携等を含めて、しっかりした基本計画が出来上がったと思っております。私は学校関係者という立場で、30ページの「教育環境・教育・学び」を重点的に見させていただいたところですが、様々なところと連携するということがしっかりと書かれてありますし、今後の取組の「3 教育環境の充実」というところでは、これまでに学校の空調設備を進めていただいておりますし、この計画には書かれていませんが、プールの水泳指導等についても、地球温暖化も進んでいるところで、市で予算を立てていただき、外部と連携をしながらいち早く対応していただいたことに感謝しています。今年の自治体ランキングは東北1位ということでしたが、総合計画がこれからの富谷市を進める、持続していくためのベースになるのではないかといいところで楽しみ

になりました。

(風見会長)

ありがとうございます。総合計画は予算の大きなベースになりますので、ここをしっかりとメリハリをつけながら進めていただければと思います。特に教育は重要だと思います。それでは、菅原委員お願いします。

(菅原委員)

全体的にすごく分かりやすい構成になっていて、内容もブラッシュアップされていると感じております。私は特に28ページの「子育て支援」の取組のところを見させていただいて、色々意見なども書いておりました。子育て支援の取組では、これまで5歳児健診が必要かどうかを十分に検討されてきたと思いますが、乳幼児期から学童期への切目のない支援ということですからすごく重要な健診と感じておりますので、実施いただけるのは良いと思います。健診を実施することは大変ですが、住民側から見ても学校側から見ても良いことだと思います。さらに成果目標にも記載いただいていることも良いと思います。

また、社会福祉協議会におりますと、各町内会長や役員と懇談をしたり、直にお話することが多くあり、町内会活動が今まさに何らかの手を打たないと難しい状況にあるのではないかなということを感じます。68ページの「地域活動・市民活動」の今後の取組「2 地域コミュニティ活動への活性化の支援」というところで、しっかりと支援していくと記載してあるところも良いと思います。成果目標では、情報発信も重要ですが、支援について何かもう一步踏み込んだ成果目標があれば、さらに進んでいくのではないかな、町内会の活動支援になるのではないかなと思いました。部分的にはそのような話もありますが、全体的には誰もが手に取って読みたいと思える良いものになったのではないかなと思います。

(風見会長)

ありがとうございます。成果目標については事務局で吟味しているところだと思います。総合計画レベルでどんな指標をつくるのか、施策ごとに具体的な指標がでると思いますので、その部分も調整しながら、表現などをレベルアップする必要があるれば対応いただければと思います。目標はしっかり実現できるものでないといけないので、それを踏まえて各施策にしっかりと反映できればと思います。それでは、富田委員お願いします。

(富田委員)

私も横開きになったことが気に入っております。ぜひ、この形で皆様のところへ配布されることを願っています。中身は固い内容かも知れませんが、子どもの絵本のような感覚で「おおきなかぶ」を見ていくように見るのが楽しみになるものだと感じました。私が「高齢者支援」のページを見たときに、これからお世話になること、例えば「とみばす」がどうやって使われているのか、ライドシェアとはどういったものなのだろうかなど、この先のことを見て理解しておくことも重要だと思います。まずは、見やすい横開きスタイルを続けていただきたいです。内容・デザインとしては今のところパワーポイントの資料感が否めないと思いますので、ここからさらに見やすさがブラッシュアップされていくのではないかと期待しています。

70ページの「市民参加・広報公聴」の今後の取組に情報発信がありましたが、私は、LINEよりも安全・安心メールの受信を活用していることが多く、理由としてはメールだと過去の履歴を検索しやすいからです。特に今はクマの情報が出ていますが、テキストだけの情報なので、クマが出た場所がどこなのか分かりにくいと感じています。明石台地区のという情報だけでは具体的にどこなのか分かりませんし、ひより台の1丁目や2丁目と書かれてあってもどちらが1丁目なのか分からなくなることがあります。できればテキストの情報だけでなく、デジタルを活用して地図でも表記するようにしてほしいです。今はテキスト情報を基に自分で地図アプリを使って場所を検索しています。情報発信の次の使い方まで想像した情報発信をこれからお願いしたいです。そうすれば大人から子どもまでもっと活用しやすいものになると思います。

(風見会長)

横開きの総合計画は確かに珍しく、斬新だと思います。内容は要約しすぎていないかとも思いましたが、要約することは勇気があることなので、この内容で十分であればこれが一番良いと思います。皆様に見ていただきながら要約して、なるべく分かりやすく使えることを大事にしていければと思います。情報発信の取組については、事務局で改善できるのであればよろしくお願いします。それでは、村上委員お願いします。

(村上委員)

村上です。本当に短期間のうちに、このように見やすくなっているとは思いませんでした。これまでにないくらいとても分かりやすく、見やすくなっていると思いました。ぜひ、このままのスタイルで皆様の手にとっていただければ良いのではないかと感じました。総合計画としては素晴らしいのですが、私自身がこの総合計画の中に実践者として入っている取組が多いこともあり、この総合計画が実際に活動する市民の皆様にとどのように伝わっていくのかが気になっています。農業振興や公園活用、子育て支援や高齢者支援の取組をどのようにマッチングさせていくかなど、実践の場で感じるが多々ありますので、総合計画を通じてそれが伝わっていければ良いと思います。先日、女性活躍というテーマで、岩手県が主催する会議に呼ばれましたが、「富谷市は住み心地ランキング、住み続けたいランキングがいつも上位なのがすごく不思議だ」と言われました。なぜなのかと聞かれた際に、団地もあり、自然環境も良く、「ちょうど良いまち」であると答えました。これといった大きなものは無いのですが、若生市長のおっしゃっているように市民力ということで、女性の活躍しやすい環境があるとお答えしました。それに対して岩手県の皆様が関心を引かれまして、どのようにしたらそんな環境ができるのかということ聞かれました。私自身としては、市民がやりたいことに対して、行政も企業にも賛同してもらえる環境が整っているとしか言えなかったのですが、子どもにやさしいまちづくりという富谷市の取組もとても響いていたので「子どもたちがまちづくりに興味を持つような企画が多いです」とも答えました。また、昨日のテレビに富ヶ丘小学校が映ってまして、子どもたちが子どもたちに質問をして、子どもたちが答えるという映像を見ました。「富谷市役所の屋上でやっているまちづくりは何でしょう」という質問が出て、「はちみつを作っている」と答えていましたが、各学校で富谷市に対して興味を持つようなことをやってくれていて、子どもたちは子どもたちなりに頑張っていると思いました。子どもたちに対して、我々大人ができることをどのように見せていくか、それがまち全体でできていけば、次世代に何かを残せるのではないかと個人的に思います。

一方で、子どもだけではなく、大人が社会に出にくい状況にある家庭や人がいると聞いています。一般的に引きこもりということになるとと思いますが、そのような方が富谷市にはどれくらいいらっしゃるかは分かりませんが、そうした状況に興味を持って、そのような方たちが社会に出てこられるような環境づくりは、一つの大きな課題だと思います。色々と自分が思うところはあるのですが、富谷市には、人が入りやすい環境があるというところが、他の地域にはない魅力だと思っています。

(風見会長)

ありがとうございます。今お話があった「ちょうど良い」という表現は素晴らしいと思います。宮城県との打ち合わせの中でも、県の職員の方が富谷市を「ちょうど良い」と表現されたこともありますし、私も東京から来たので分かりますが、富谷市は程よく都会で、程よく自然も残っていて、食事もおいしいと感じています。総合計画のやりようによっては、東京では都市化しすぎていて果たし得ないようなことも実現できると思いますし、田園都市がまさにそれにあたります。「ちょうど良い」ということは、結局バランスの良さであり、バランスはとても重要であります。田園都市も都市と自然のバランスであり、女性参加についてもバランスです。他の市町村の会議にも参加していますが、そこではほとんど女性はいません。それもバランスで、男性陣も多すぎればバランスが悪いように、バランスを大事にするということに良いひらめきを得ました。

それから、プレイヤーをしっかりと応援していかないといけません。村上委員も頑張ってくださいますが、委員の皆さんがプレイヤーとして市を支えていただきたいと思います。また、シティ・プライドの中に書いてありますが、市民がプライドを持てるまちということで、これから広めていくために、総合計画は作って終わりではないので、それをどう市民に伝えるかということについて、今のご意見を尊重して検討いただければと思います。全体として分かりやすい総合計画になっていると思いますので、計画に参加していただけるかということ、参加に結びつくようなデザインをしっかりとやっていただくとともに、1年に1度あるモニタリングを通して、参加の機会を作っていただいたことを報告いただければと思います。富谷市では参加のまちづくりということで、先駆的に取り組んでおられますが、さらにプレイヤーの皆様が輝くまちにしたいと思います。それでは、宮崎委員お願いします。

(宮崎委員)

東向陽台中学校でPTA会長をしております、宮崎と申します、よろしくお願いします。PTAの活動の中で、色々なところに研修に行くことが多いのですが、最近参加した研修の中で印象に残っている話がありまして、家族以外で信頼できる大人の数が多い子どもは、持続的な幸福度の傾向が高いと言われているそうです。子どもと積極的に関わりを持って、そして地域の大人たちも関わりを持つことで、全ての世代の幸福度が上がるような富谷市になるとすごく良いと思います。さらに幸せなまち富谷になると良いと思いますし、それに向けて前期基本計画案が動き出すと嬉しく思います。

村上委員がおっしゃっていた「富谷市がちょうど良いまち」ということで思い出しましたが、先月、「とみやど」でハロウィンイベントをやってしまして、私の職場は仙台市なのですが、職場の同僚がマジックを披露するということがあり、職場が一緒の知り合いを呼んで見に行きました。マジックを見た後に、「とみやど」の近くの古民家カフェに行き食事をした際に、私ともう一人が富谷市民だったのですが、「富谷って良いでしょ。ちょうど良いでしょ。」と仙台市に住んでいる方に富谷市をアピールしたことを思い出しました。幸福度の高い富谷市になることを願っています。

(風見会長)

ありがとうございます。幸福度は究極的な共通の目標ですので、それに向かっていけば良いと思います。ありがとうございました。それでは、小松委員お願いします。

(小松委員)

小松と申します。先程、富田委員がクマの話をされていましたが、市からの情報もありますが、私の住んでいる地区は三ノ関なのですが、三ノ関地区にクマが出ると必ず町内会のメールで番地まで教えてくれるので役立っています。

高齢者支援については、認知症の家族の介護で私が直面している問題です。高齢者支援の今後の取組3に、「認知症の人を含めたすべての高齢者が希望をもって自分らしく暮らすこと」とありますが、その中に「家族」も一緒に希望を持って自分らしく暮らすことができるという意味で、「家族」という言葉も入れてもらいたいと思います。また、説明文に「チームオレンジ」という言葉がありますが、チームオレンジとは何なのか分からないので、その説明も入れてもらいたいと思いました。

山形県置賜郡に川西町という町がありますが、そこに息子の妻のお父さんが一人暮らしをしているのですが、川西町では一人暮らしの高齢者の家に行政や保健師、薬剤師が出入りしており、けがや病気などに対応しながら一人暮らしの高齢者を支えているという話を聞きました。先日、そのお父さんが、転んで足を骨折し、ずっとベッドに寝ていた状況が分からず、たまたま保健師さんが出入りして3日くらいで骨折が発見されて、無事に病院に連れていかれたという話がありました。川西町は小さな町ですが、一人暮らしをしても安心して暮らせる仕組みがすごく良いと思いましたので、富谷市とは人口の大きさの違いもあるのかも知れませんが、一人暮らしの方も安心して暮らせるということも考えても良いのではと思いました。

(風見会長)

ありがとうございます。事務局で補足すべき点はありませんか。

(事務局)

保健福祉部長の高橋です。「チームオレンジ」とは認知症のサポーターの方々の方々の組織ですが、チームオレンジという名称だけではそれが伝わりませんので、内容の説明を入れたいと思います。

(風見会長)

よろしいでしょうか。川西町は、まちづくりの先進地として昔から有名です。コミュニティビジネスの講義に行ったこともあります。地域が主体でまちづくりをやる機運が昔からあるところ。町が小さいことから富谷市とは少し違ったムードですが、富谷市には市レベルでも同じようなことができそうなポテンシャルがありますので、特に福祉面でもその点は強化すべきところかと思います。長寿になると安全・安心が持続するということが大事です。それでは、増田委員お願いします。

(増田委員)

増田です。皆さんがおっしゃっているように、基本計画がとても見やすいものになっていて、感動い

たしました。これは他の市町村の皆様が見ても、これは絶対良いまちだと分かるものだと思います。自治体ランキングで富谷市が東北1位であるということが分からない人でも、この計画を見ただけで良いまちだと分かってもらえると思いますし、他の自治体が真似をして作ったとしても、そうはならないと感じました。写真や子どもたちの絵が、すでに富谷市にはまちづくりの土台ができていることを物語っていると思いますし、ここがすごく大事なところだと思います。他の自治体はその土台をどうやって作ったら良いかを今考えているところなのに、富谷市にはその土台が既にできていて、その上を目指しているところがこの計画に表現されていると思います。富谷市は、まだ誰も踏み出していないところに先駆的に歩みだしていくという立ち位置にあると思いますが、そこで大事なのは、皆さんでビジョンの共有をすることだと思います。その点で、この見やすい計画が非常に大事で、私たちは審議してきましたので分かっているところですが、市民の方々に計画を作った意味や内容が伝わるかが、今後大事になると思います。

それから、市民協働の取組がありましたが、これだけのことを成し遂げるのに職員の方がどれだけご尽力してくださっているのかと思います。若生市長も富谷市の市民力を評価してくださっていると思いますが、大事なのは市民力プラス市民意識の向上だと思います。一人一人が自分にできることはやるという意識、誰かに頼り切るのではなく、本当にそれは市に任せるだけで良いのかという意識まで持つようになると、本当にこの先を見据えたまち、どこにもない日本一のまちになれると思います。

(風見会長)

ありがとうございます。私も写真や画像などのライブ感がすごく良く、なかなか他には無いものだと思います。実際の計画書は文言だけあっても、進んでいるのか進んでいないのかも分からないので、今後、この計画を市民に広めていくときも、どんな具体的な動きがあって、そこにどう参画していけるのかが分かるようなものができると良いと思います。色々な取組をこの計画の中に上手く組み込めたので、その部分で迫力とリアリティがある総合計画になったと思います。これは市民力のなせる業だと思いますので、事務局も広めていくときに考慮いただけると良いと思います。それでは、新藤委員お願いします。

(新藤委員)

行政区長会会長の新藤でございます。資料については皆様が言い尽くしておりますので、私も同意見で大変活用できると感じております。私の視点から申し上げますと、行政区長として、この基本計画をどのように町内会へ浸透させていくか、これが非常に難しいと感じています。私の立場としては、やはり機会のあるごとに計画のお話をして、皆さんからのご意見やご希望を吸い上げていきたいと思っています。それが町内会としての役目だと思いますし、そのような雰囲気を作っていかなければならないと思います。町内会として皆様と話しやすく、お互いに意見交換をできる場を町内会長として作り上げていく、これがまず一点目です。

二点目としては、町内会で子どもたちが参加する企画を考え、子どもと接する機会を作らないといけないということです。例えば、日吉台二丁目町内会では、11月2日に芋煮会をしましたが、参加者は650人いました。その時に、小中高・大学生の皆様がお手伝いに来てくれて、15、6人が参加してくれました。住んでいる地区から子ども会もなくなって残念だという話もありますが、日吉台二丁目町内会では逆に子どもの参加者が増えています。私のアイデアで未就学児童の親にも町内会に入ってもらいましたし、

今回の芋煮会では、綿あめづくりとヨーヨーづくりを子ども会に全部任せました。そういった場で大人と接しながら、お手伝いをすると大人と顔見知りになります。そのようなものを町内会で企画していかなければならない。若生市長は市民力とおっしゃいましたが、「役員力」が町内会では非常に重要であります。一致団結して、そこから色々な活動をしていくために知恵を出し合うような方向性で、町内会が進んでいかないと立ち行かなくなっています。先程、菅原委員から町内会活動支援のお話がありましたが、苦情が来ることもあっても、知恵を出し合っていく必要があります。知恵を出し合う雰囲気づくりを行政区長会の会長としてやっていきたいと思います。

(風見会長)

いつも力強いご意見ありがとうございます。役員力は、言ってみれば地域力です。市民力と地域力ということだと思います。しっかりと仕組みづくりをして、年長の方がはしごを掛けて外さない。若い人が参加できるようになればと思いますが、大衆から個の時代になって、SNSもあるので、一緒に汗をかく、一緒に楽しむ回数も少なくなっていると思います。それも大人たちの責任かと思います。総合計画を話題にしながら、是非やっていただければと思います。

(風見会長)

今日は前期基本計画について審議する最後の機会ということで、一巡でご意見をいただきました。時間が少ない中で、十分な議論をしていただけたと思います。一巡はしましたが、もう一言という方がいれば伺いますがいかがでしょうか。それでは、本日の意見を踏まえて、総合計画はこれでしっかりとまとめ上げて行くことになりますが、委員の皆様のご意見がしっかり組み込まれた総合計画になっているのではないかと思います。また、皆様には計画を広げていく責任があると思います。我々も一丸になってこの計画を広めて実行する方向に進めていければと思います。以上で、基本計画については議論を終了します。

(2) 第2次富谷市国土利用計画（案）について

(風見会長)

それでは、議事の2つ目、(2) 第2次富谷市国土利用計画（案）について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、第2次富谷市国土利用計画案についてご説明いたします。

資料3及び資料4をお配りしております。資料4が国土利用計画案でございます。本日は、資料3の国土利用計画案の概要の資料でご説明いたしますので、資料3をご覧ください。前回、第2回の審議会では、国土利用計画の「1. 市土の利用に関する基本構想」についてご説明しておりますが、改めて概要をご説明いたします。

計画の目標年次を令和17年として、来年、令和8年4月からの10年間の計画でございます。基準年次は令和5年としております。

続いて、市土利用の基本理念でございます。将来像の「住みたくなるまち日本一 ～100年間ひとが増

え続けるまち～」の実現に資するため、市土は市民のための限られた資源・財産として認識し、公共の福祉を最大に優先し、田園都市として、緑豊かな自然や農地などとの調和を図りながら、バランスの取れた都市機能の配置を進め、将来にわたって豊かに安心して暮らすことのできる持続可能な市土の形成を図るものとしております。

市土利用の基本方針につきましては、高齢化や空き家問題に対応しつつ、農地・森林・宅地の転換を慎重に進め、土地の有効利用と質的向上を図ること、大亀山森林公園などの資源については、次世代に継承し、生態系ネットワークを維持しながら自然環境と景観を総合的に保全します。さらに、公害防止や災害対策を通じて、安全・安心な市土を形成して、拠点間の連携によるコンパクトでネットワーク型の都市構造を推進します。所有者不明の土地の発生の抑制や景観・治安の維持にも取り組み、市民・企業・団体など多様な主体と協働して土地利用・管理を進めることとしております。

利用区分別土地利用の基本方向につきましては、土地利用を農地、森林等の区分ごとに整理しまして、持続可能で調和の取れたまちづくりを目指すこととしております。農地につきましては、食料供給の基盤として、効率的利用やスマート農業を推進、森林は公益的機能を守りつつ、再エネの導入は生態系等に配慮し適正利用を進め、水面・河川・水路については、水質保全や防災機能を強化し、道路は生活・産業基盤として、安全性や快適性を重視して整備します。宅地については、良好な居住環境を確保し、工業・商業用地も需要に応じて整備し、その他の公共施設や低未利用地については、教育・福祉、防災、再エネ導入に活用し、市街地は防災基盤の整備と緑豊かな街並み形成を進め、人口動態に応じて都市機能を調整することとしております。

続いて、2つ目、市土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要でございます。市土の利用区分に応じた区分ごとの規模の目標につきましては、基礎的な前提となる人口と世帯数を設定しております。目標年次の令和17年の人口が53,800人、世帯数としては23,000世帯としております。市土の利用目的に応じた区分につきましては、農地、森林、宅地等の地目別区分及び市街地とします。市土の利用区分ごとの規模の目標につきましては、利用区分別の市土利用の現況と変化についての調査に基づいて、将来人口等を前提とした今後の開発動向、多様化する住宅ニーズ等を考慮しまして、利用区分別に必要な土地需要面積を予測、土地利用の実態との調整を行いながら、定めるものとしております。

裏面、2ページでございます。こちらの表では、目標年次17年の市土利用に関する農地、森林等の利用区分ごとの目標をまとめております。一番左側に利用区分として、農地、森林等の区分を記載しております。2列目には、基準年として、令和5年時点の各面積を記載しております。こちらの面積は、宮城県が保有する直近のデータになります。3列目が今回の計画の令和17年の目標年次における目標面積としております。農地、森林等の各利用区分ごとの面積の増減の内容につきましては、現在進めております高屋敷西、成田二期北等の工業団地や成田二期西、東等の住宅団地の整備、また、この後ご説明いたしますが、新たに土地利用の転換を予定しているエリアを含めた面積の増減を表しております。大きく変動する利用区分としては、「増減」の列をご覧ください、「農地」の区分では35ha、「森林」が274haの減少となっております。その分、下の方にある「宅地」の区分では、309haの増加となっております。主に成田二期北工業団地等の整備による変動となっております。この表に記載の目標のとおり、計画に基づいて効果的な土地利用を進めてまいります。

続いて、(2) 地域別の概要でございます。資料の4、国土利用計画案、計画の本編、13ページをお開きいただいて、合わせてご覧ください。地域の区分としまして、市土の自然的、社会的、経済的、地理的

諸条件及び市土の将来像を勘案しまして、東北縦貫自動車道を境界として、西部地域と東部地域の2地域に区分しております。西部地域につきましては、国道4号を軸としております。また、環境にも配慮しながら、再生可能エネルギーの導入や道路、公共施設を整備して、持続可能で魅力ある都市づくりを目指す地域としております。東部地域につきましては、山林や農地を基幹的な緑地・貴重な食糧供給地として保全しつつ、都市計画道路を軸として市街地や工業地の整備、公共施設や公園を活用して、緑豊かで利便性の高い持続可能な都市づくりを進める地域としております。

続いて3ページでございます。本計画を達成するために必要な措置の概要としまして、3つ記載しております。1つ目が公共の福祉を優先し、自然・社会・経済・文化的条件等を踏まえた総合的・計画的な土地利用を推進、2つ目が土地所有者は良好な管理・有効利用に努め、市による規制・誘導措置の実施、3つ目が住民、企業、NPO、研究者などの多様な主体の参加と役割分担による実施として、富谷市と地域住民、企業等の多様な主体が参加して、適切な役割分担に基づいて実施するものとしております。主な取組としては、土地利用関連法の適切な運用を基盤として、道路、市街地整備など地域特性に応じた施策を進め、自然環境や文化財の保護、防災力の強化、公害防止、再生可能エネルギーの導入などを総合的に展開します。また、農地・森林等、それぞれの土地の特性を活かした有効利用を図りながらも、土地利用転換については慎重に調整するものとします。さらに、住民や企業、NPOなど多様な主体の協働による市土管理、調査と啓発活動、計画の定期的な点検を通じて、持続可能で安心・快適なまちづくりを目指すものとしております。

国土利用計画案について、概要をご説明いたしましたが、10年後の富谷市の土地利用について、図を作成しておりますので、資料のカラーの図をご覧ください。3枚お配りしておりますが、初めに右上に「富谷市土地利用図（基準年次：R5）」と記載した図でございます。こちらは令和5年時点の富谷市の土地利用の状況を表した図になりますが、左下の凡例のとおり、黄色が農地、緑が森林、ピンクが宅地というように色塗りをしております。国土利用計画に基づいて、基準年の令和5年から令和17年までにどのような土地利用を進めるかということになりますが、2枚目の図、「富谷市土地利用転換図」と記載した図をご覧ください。こちらは令和17年までにどのような土地利用の転換を進めていくかという図でございます。コメントが記載されている箇所は、第1次計画の中で既に転換エリアとしてお示ししているエリアで、左上のピンク色、高屋敷西工業団地と日渡、続いて、真ん中の成田二期北工業団地、下側に、成田二期西、東、明石台東二期の住宅団地で、引き続き、整備を進めていくエリアになります。今回、新たな土地利用の転換エリアとして、図の一番上にあるピンクに塗られているエリア、富谷市の北側への住宅地の提供として、住宅用地として転換していくことを想定したエリアとしております。また、真ん中左側、富谷市の西側になりますが、国道4号沿いの高屋敷の入り口付近から南に向かって鷹乃杜付近までと、富谷インターチェンジ付近について、新たな土地利用として、商業施設、物流等の業務系の用地などとして転換を想定しております。今後の工業団地の整備等と併せた、有効的な土地利用の転換を進める予定でございます。最後3枚目の図として、右上に土地利用構想図と記載されている図になりますが、先ほどの転換予定地を反映した図で、目標年次17年の富谷市の土地利用を反映した図となっております。この構想図のとおり、今回の国土利用計画をベースとしまして、自然環境にも配慮した利便性の高い持続可能な富谷市の土地利用を進める計画としてまとめております。計画案につきましては、今後、宮城県との協議、パブリックコメント等を実施する予定です。第2次富谷市国土利用計画案につきましては以上でございます。

(風見会長)

ありがとうございます。総合計画の審議の場でこちらでも議論することになっておりましたので、ご説明いただきました。若干、専門的な内容もあるかと思いましたが、土地利用計画で一枚目にありますように、一番大きな目標は、富谷市では田園都市と位置付けておりますので、基本理念の田園都市、「バランスの取れた都市機能の配置」、これを踏まえて特に「生態系ネットワークを維持しながらのコンパクトなネットワーク」、「森林は公益的機能を守りつつ、再エネの導入」、土地利用ということは産業に関連しますので、このあたりは総合計画と関連するところですので、ご覧いただきまして、しっかりとこれからの土地利用をしていただくことをお願いしたいと思います。土地利用図をご覧いただければと思いますが、成田二期北工業団地、高屋敷西工業団地、先程の4号線沿い地区の転換も示されておりますが、成田二期北工業団地についてはビオトープを設置するというので先日のフォーラムでも話題になっておりましたが、田園都市にふさわしい自然環境との共生を謳いながら、富谷市は進んでいかれると、そのように受け止めております。皆様から質問、ご意見ありますか。よろしいでしょうか。

私が代表して言わなければならないのは、田園都市は是非、謳い文句ですので、しっかりと自然共生の良いまちづくりを進めていただいて、実際に産業用地や働く場所、利便性向上も重要なテーマではありますので、森林に手をつけるものについては、森林再生も織り込みながら進んでいただけると期待しておりますので、よろしくお願いします。時間もオーバーしておりますが、以上で、本日の議事を終了したいと思います。ここまでのご議論、ありがとうございました。そこで、一通り皆様のご意見をいただいたところですので、恒例ですが、オブザーバーの中学生の二人にぜひ忌憚のないご意見、感想をいただきたいと思いますので、お願いします。

(オブザーバー①)

まずは、これからの富谷市を決めていくこの機会に参加できてとても光栄に思います。とても緊張しているのですが、皆様のおっしゃっていたとおり、資料がとても見やすかったと思いました。今日初めて拝見したのですが、かなり容易に理解できたので、本当にありがとうございました。この空気感というところで、ピンと張りつめた感じもありながら、たまに緩む感じもあり、ちょうど良いと感じました。色々な資料をご説明いただきながら見ていて、先日給食にハチミツが出ましたが、農作物や特産品の取組のところで給食の裏が知れ、これから給食がもっとおいしく感じられると思いました。また、安全・安心についても、自分たちの安全を本気で守ろうとしてくれているという空気感が直に感じられて、本当にありがとうございます。教育についてのところでも、特別教室や体育館への空調の整備と聞いて、後輩たちが過ごしやすくなることはとても楽しみだと思いました。

これからの富谷に期待することということでお話させていただきます。歩いて登校している小中学生からの目線ですが、雪の日の歩道、特に4号線沿いの建物で陰になっている歩道が凍っていることがあり、すごく滑ります。対策方法はあまり分からないのですが、雪が凍る前に処理することができないかと毎年思っていました。それから、あけの平側に行く、富谷イオン沿いに細くなる道がありますが、ビックハウス側にある横断歩道を渡らずに、横断歩道がない道路を車の切れ目で渡る人がいらっしゃるので、安全面を考慮するなら横断歩道を渡っていただきたいと思うことがあります。また、私は吹奏楽部に所属しているのですが、何年も続いているので、楽器も年季が入ってきています。楽器の修理や新しい楽器の購入支援をお願いしたいという思いがささやかながらあります。

このまちで過ごせていることや、ここまで計画してくださっていることがすごく幸せだと思いました。

とても貴重な経験をありがとうございました。

(風見会長)

ありがとうございました。大人たちがこのように真剣な議論しているところも見えていただいて、ありがたいと思いました。細やかな提言については、若生市長もお聞きになっておりますし、事務局で対処いただけたと思います。何よりも子どもたちが将来、富谷市をもっと好きになってくれるために大人たちは頑張っている、子どもにバトンを渡していくということになりますので、そのつもりでこれからもまちづくりにご参加いただければと思います。

(オブザーバー②)

今日は、普段の生活では経験できない大人の真剣な議論を聞くことができ、とても良い経験になりました。ありがとうございました。私は部活に入っておらず、校外のクラブチームでサッカーをしており、そのチームメンバーは基本的に仙台市から来ています。その仙台市から来たメンバーに富谷市は良いところだという話をしたことがありましたが、大人たちもそのように思えているということが、自治体ランキングで5年連続東北1位を取れている理由だと思います。

若者目線からの要望ということですが、特別教室や体育館に空調をつけてほしいです。富谷第二中学校は技術室や体育館に空調がついておらず、北向きなので気温が上がりやすく、冬は寒く、夏は暑いというところがあります。また、公園については、大清水2丁目の第一公園の街灯が夕方に1か所つきません。公園の草刈りをしてくれる人がいて非常にありがたいのですが、草刈りは昼間しているので気づかないと思います。第一公園だけでなく他の公園も同じようなことがあると思うので、確認、修繕をしてほしいと思います。まだ、4、5年は確実に富谷市にいますので、これからもっと良いまちになってくれることを期待しております。本日はありがとうございました。

(風見会長)

是非4、5年と言わず、また戻ってきていただければと思います。さらに富谷市のために貢献いただける決意だと思いますので、ありがとうございました。若生市長、全体総括をいただければと思います。

(若生市長)

本日も、お一人お一人から本市に対する丁寧なご提言や、今回の基本計画案について高い評価をいただき、心から感謝申し上げます。これまで審議会の委員の皆様には様々なご意見いただいた結果として、本日このような形で基本計画案としてお示しできたところでございます。改めて、本日いただいた意見を含めて、次回は2月上旬に開催する最終の審議会となる第4回総合計画審議会に向けて、その間パブリックコメントなど市民の皆様のご意見をいただきながら、最終案を作っていきたいと思いますので、引き続き、よろしくお願いします。

先程、村上委員からお話がありましたが、引きこもりに関しましては、本市では昨年、全世帯に実態調査を行いました。結果として引きこもりの状態にある方は226人、その中で支援を必要とされている方は39人いるということで、数値を把握しております。そこにどのように対応するのかについては、民生委員の皆様のご協力をいただきながら対応していくことになります。他の自治体はどこもこのような実態調査を行っていないので、その数値が多いのか、少ないのかは比較できませんが、調査を行って課

題として実数が見えてきたということで、1件1件、お一人お一人に対応しているところでございます。そのような方をサポートしていくことが大事だと思っているところでございます。

色々ご意見をいただくなかで、最後にはオブザーバーの中学生のお二人から貴重なご意見いただきました。ありがとうございました。給食のハチミツ、これは市役所の屋上で、村上委員はじめ市民の皆様が暑い日も寒い日もお世話をしていただいたもので、今は越冬に向けて準備をしているところです。東北でミツバチは越冬できないと言われていましたが、今は100パーセント屋上で越冬することに成功しております。これも市民の皆様のお世話のおかげです。今年はハチミツの収穫量が500kgということで、すごい量が収穫できており、初めてハチミツを学校給食で提供するという念願が叶いました。全ての小中学校に提供することができたことは村上委員はじめ、お世話していただいているはちみつプロジェクトの方々のおかげですし、生徒の皆様にもとても喜んでいただけていると思っております。中学生の皆様には先日提供し、小学生の皆様には11月25日に提供することになっております。これも市民力の賜物と思いますので、改めて感謝申し上げます。

楽器については、本当に申し訳ありません。本市はマーチングのまち、音楽のまちということで、平成元年に全ての小中学校に金管楽器を整備させていただきました。その後は計画的に、小学校と中学校で毎年1校ずつ順番に楽器の更新をしておりますので、富谷第二中学校はそろそろ交換の時期になるかと思います。一気に更新ができれば良いのですが、そのような事情となっておりますので、その分先輩方が大切に使われてきたと思いますが、ご理解をいただければと思います。除雪関係につきましては、担当部長も出席しておりますので、通学時に足元が悪いということは承知しました。新藤委員をはじめ町内会の皆様も一生懸命、子どもたちのために融雪剤を散布してくれています。最大限努力していきたいと思います。

また、サッカーのクラブチーム内で富谷市を誇りにしていることを自慢していただきありがとうございます。エアコンについては、本市は県内自治体で最初に全ての学校にエアコンを設置すると宣言しており、特別教室については本年度、順番に設置をしているところであり、来年度からは体育館に設置をするということで準備を進めております。後輩たちがしっかりとエアコンが使えるようにしていきますので、よろしくお願いいたします。また、先程ご指摘いただいた大清水二丁目第一公園の街灯についてはすぐに対処します。

本日、皆様からいただいたご意見もしっかりと形にしていまいります。大事なのは令和8年度に富谷市は市制施行から10周年を迎えますので、新たな総合計画のもとに次の10年をスタートしていければと思っています。本日も貴重なご意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。本日は本当にありがとうございました。

(風見会長)

ありがとうございました。中学生のお二人の意見にも丁寧にお答えいただき、さすが若生市長だと思いました。本日、重要だと感じたのは、皆様のご意見が計画の中身より、それをどう実行するのかという方向に向いていたということです。総合計画は作って終わりという自治体が多かったのですが、富谷市の総合計画には、若生市長自らが旗を振って、庁内・市民力を含めてオールとみやで実現するということが最初に書いてありますので、その輪をどう広げていくのかは、これから我々審議委員の役割でもあります。中学生のお二人も本当にありがとうございました。これはサーキットに若者が入っていただいて、バトンを受け継いでいくということですので、本日の参加が良い経験になればと思います。真剣

に議論していることを、周りの中学生の皆様にお伝えいただくのも本日ご参加いただいた責任だと考えていますので、よろしくお願いします。本日は、良い議論ができたと思います。事務局もお疲れ様でした。大変見やすくなったとお褒めをいただいておりますが、中身についてもう一度吟味して、本日までの意見を反映しながら計画をまとめていく段階になっていますので、よろしくお願いします。また、パブリックコメント等もありますので、委員の皆様におかれましては、市民にお声掛けいただければと思います。我々審議委員が総合計画の実践に向けたプレイヤーになっていただくことをお願いしたいと思います。以上で、本日の議事を終わりたいと思います。活発なご議論、ありがとうございました。

5 その他

※事務局より諸連絡

6 閉会